

(様式第4号)

上田市 健康づくり推進協議会 会議概要

1 審議会名	健康づくり推進協議会
2 日時	平成30年1月22日(月) 午後1時30分から午後2時30分まで
3 会場	ひとまちげんき・健康プラザうえだ 1階 健診ホール
4 出席者	宮下会長、本道副会長、下村委員、宮坂委員、矢島委員 大久保委員、水出委員、小高委員、矢嶋委員
5 市側出席者	小林健康こども未来部長、石井健康推進課長、中山健幸政策担当係長、 川口健幸政策担当係長、緑川地域医療担当係長、橋詰保健予防担当係長、 望月保健予防担当係長、遠藤母子・精神担当係長、宮山丸子地域健康支援担当係長 高木武石地域健康支援担当係長、吉澤真田地域健康支援担当係長、片田主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	無
8 会議概要作成年月日	平成30年1月26日

協議事項等

1 開会 (石井課長)
2 あいさつ (小林部長)
3 協議事項 (事務局が説明) <ul style="list-style-type: none">・パブリックコメントについて報告 平成29年12月27日から平成30年1月12日まで募集したが、意見は無し。
(1) 第三次上田市民健康づくり計画(案)について 第1章 追加修正箇所について(事務局が説明) <ul style="list-style-type: none">・平成27年の長野県の平均寿命が発表されたので追加した。(男性81.75歳、女性87.67歳)・「第二次上田市民総合健康づくり計画 最終評価のまとめ」 最終評価値の修正があり、「目標値に達していないが、改善傾向」が20項目から19項目へ 「悪化傾向」が13項目から14項目へ
第2章 追加・修正無し。
第3章 (具体的な施策の展開)
(健康管理 吉澤係長が説明) <ul style="list-style-type: none">・値の修正(メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合・大腸がん検診精密検査受診率)・「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」について追加
(栄養・食生活 橋詰係長が説明) <ul style="list-style-type: none">・修正無し
(身体活動・運動 川口が説明) <ul style="list-style-type: none">・「フレイル」についての注釈を追加
(こころ 宮山係長が説明) <ul style="list-style-type: none">・修正無し
(歯・口腔 高木係長が説明) <ul style="list-style-type: none">・「オーラルフレイル」について明記
(親と子 遠藤係長が説明) <ul style="list-style-type: none">・「3歳児の就寝時間」のグラフ 未回答者を加えて計算し直したため、値に変更が生じた。 22時以降に就寝する3歳児19.3%→19.0%へ変更。それに伴い指標も変更した。

審 議

- (委 員)・「歯・口腔」分野に、早速「オーラルフレイル」という言葉を取り入れた。この「オーラルフレイル」は、策定中の県の計画にも明記されている。また、計画の達成度をはかる指標は、県の計画に沿っており、非常によくできた計画だと思われる。
- (委 員)・「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」は、国でも今とても力を入れているところなので、是非国の流れ・県の流れを踏まえ、上田市として取り組んで欲しい。
- ・上田市の計画は、国の「健康日本 21」の流れに沿った計画で、流れが明確に表されている。
 - ・国の「健康日本 21」は、10年計画だが、介護保険事業計画の3年毎の計画に合わせ、国の医療計画は5年から6年になった。上田市の計画も今回は6年ということだが、もし委員の皆様のお賛同をいただければ、介護保険計画の見直しと合わせて、3年後に中間評価をして進捗状況を確認することについてご協議いただきたい。
- (会 長)・貴重な御意見をいただきましたが、今のご提案について委員の皆様いかがでしょうか。
- ・審議会で、ある程度出来上がった計画案を提示されても議論の余地が無い。その前に、次期計画に盛り込む内容について協議する場があると良いと感じる。それと絡めて、3年目の中間報告時に協議の場を設ければ、次の計画の内容を考えるきっかけになるのではないかと。
- (事務局)・貴重な御意見・御提案をありがとうございました。
- ・前回の審議会でも御意見をいただいたが、委員の皆様はこちらの案を承認いただくような進め方となってしまい、次回の課題と考えている。中間評価という御提案があったが、途中で評価することはとても重要だと思うので、検討させていただきたい。
- (事務局)・第1回の審議会で、委員の方から「地域包括ケアシステム」との関わりという話があったが、国の動向を踏まえた上でお話をお聞きしたい。
- (委 員)・国の医療計画は平成30年4月から6年間、介護保険事業計画は平成30年4月から3年間の計画が始まるが、どちらの計画でも「地域包括ケア」がとても大事になってきている。地域包括ケアというのは、介護が必要になってしまった人をどうやって地域で支えていくかというもの。今は医療と介護の連携構築をどうやっていくかで精一杯だが、将来的には、3年後介護保険事業計画改正の頃には、医療と介護だけではなく予防の話が出てくるのではないかと考える。将来的には、介護保険、地域包括ケアも含めた予防、県の動き(信州保健医療総合計画)も見ながら、一緒にやっていくことがだんだんと必要になってくるのではないかと。
- (会 長)・特定健診を受診する、介護状態にならないようする…という、ますます予防が重要になっていくということ。
- (委 員)・補足だが、国では、74歳までは特定健診を受診して生活習慣病を予防していこうという流れ。75歳以上については、フレイル(虚弱)、ロコモ(運動器の問題)、サルコペニア(老化による筋力低下)についてどうしていくか議論が進んでいる。今後流れが出てくると思われる。
- (会 長)・3年後は、そのようなことも含めて計画を立てていくということか。
- (委 員)・地域包括ケアの話はよく耳にしているが、なかなか進んでいかないという印象。例えば、中学校区には包括支援センターがあるが、そこが中心になりその区域から始めていって、それが全体に広がっていくのがやりやすいのかと考えるが、やり方としてはどうかお聞きしたい。

(委員)・大事なポイントだが、基本的には市町村の介護部門が役割の中心。医療との連携が重要。市町村が医師会・介護施設・社協との連携を進めていく。医師会の先生方と話し合っていく。

(会長)・医師会では、今のところ地域包括ケアに関してやっていることは、まだそこまでいっていない。長野県は10の医療エリアに分かれるが、現在のベッドや病院総数などのそれぞれの役割についてある程度決まってきた、それからの話。中学校区というのは難しい。公民館活動や自治会活動を地域包括ケアの中で位置づけていくのは難しい点が多々ある。私は、認知症に関わっているが、認知症初期集中支援チームで動き始めていて、少しずつ理解してもらっている。認知症ケアも地域包括ケアの一部。

(2) 第二次上田市食育推進計画(案)について

(橋詰係長)・「7時過ぎに起きるこどもの割合」について、小中学生の起床時間・就寝時間を追加した。

審議

(委員)・「食育推進計画」は、食育基本法という法律に基づいている。農林水産省・文部科学省・厚生労働省などに関わるため、内閣府が総括して担当している。昨今、食事について関心が高く、和食が健康と結びついて、日本の食が注目されている。健康と食事をうまく結び付けていかれると良い。

(委員)・この計画が進んでいくと素晴らしい。計画に沿って上田市民が健康に向かっていくと良い。計画に賛同して取組に協力的な人もいれば、全く関心のない人もいて難しいが、栄養士会としては、この計画に沿って協力していきたい。

(会長)・食べるお年寄り是非常に元気。食べる習慣は、歯科分野も含めて健康に繋がる大事なこと。小さい頃から身につけていくこと。こういう計画を作ることはとても重要。

以上で協議事項は終了。計画案を御了承いただいたという事でよろしいか。

4 その他

(石井課長)

答申について

2月21日(水)午後1時30分 市役所第一応接室にて、正副委員長から答申予定。